

青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋（案）

～よりそい、未来へつなぐ～

概要

令和5年11月

青森県企画政策部

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋(案)

における6つのポイント

I “人口構造の重要な局面”となる2040年を見据えた「めざす姿」

県人口が100万人を下回り、高齢化率がピークを迎える2040年を見据え、新しい青森県づくりを進めていくために、時代の潮流や今後の展望等を踏まえた2040年のめざす姿を設定。

II 計画全体を貫く基本理念＝“AX”(Aomori Transformation)～青森大変革～

「AX(Aomori Transformation)～青森大変革～」を計画全体を貫く基本理念とし、本県の抱える様々な課題に立ち向かい、新しい青森県づくりのための大きな一歩を踏み出す計画とする。

III 変革の基盤＝「挑戦」「対話」「DX」

「挑戦」「対話」「DX」を、基本理念である「AX」の基盤として位置付け。

IV 「めざす姿」の実現に向けた7つの政策テーマ

生活局面において県民が重視しているものや、更なる取組の推進が必要なものといった観点から、めざす姿を、7つの政策テーマ(しごと、健康、こども、環境、交流、地域社会、社会資本)に分類し、それぞれに、めざす姿の具体像と政策・施策を設定。

V めざす姿の実現に向けた重要なキーワード＝「将来を拓く鍵」

めざす姿の実現に向けて、特に重要で必要不可欠なキーワードとして、政策テーマごとに「将来を拓く鍵」を設定。

VI マネジメントサイクルの展開と取組の重点化

政策・施策を進めるに当たって、社会経済情勢の急激な変化に対応しながら、機動的に事業立案ができるようマネジメントサイクルを展開するとともに、毎年度「取組の重点化」の基本方針を策定し、知事から各部局に対し指示。

○ 基本計画の構成

序章 目的、基本的な考え方、計画期間、計画の基本理念

第1章 時代の潮流と今後の社会展望

第2章 2040年のめざす姿

第3章 政策・施策体系

第4章 地域別取組方針

第5章 マネジメントサイクルの展開と取組の重点化

第6章 計画の推進

資料編 県民意識調査等結果

○ 策定の目的

- 新しい青森県づくりを進めていくために、将来の青森県のめざす姿を県民と共有しながら、その実現に向けて、今後青森県が進むべき方向性を示す。

○ 基本的な考え方

- 県行政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針
- 計画全体を貫く基本理念は「AX(Aomori Transformation)～青森大変革～」
- 本県を取り巻く社会経済環境や今後の展望等を踏まえた2040年の本県のめざす姿を県民と共有
- 2040年のめざす姿の実現に向けて、7つの政策テーマ及び県内の各圏域ごとに策定した地域別取組方針に沿って取組を推進

○ 計画期間

- 社会経済環境の変化に的確かつ柔軟に対応していくため、5年間(2024年度～2028年度)とする。

計画全体を貫く統一的な視点・考え方として、計画の基本理念を次のとおりとする。

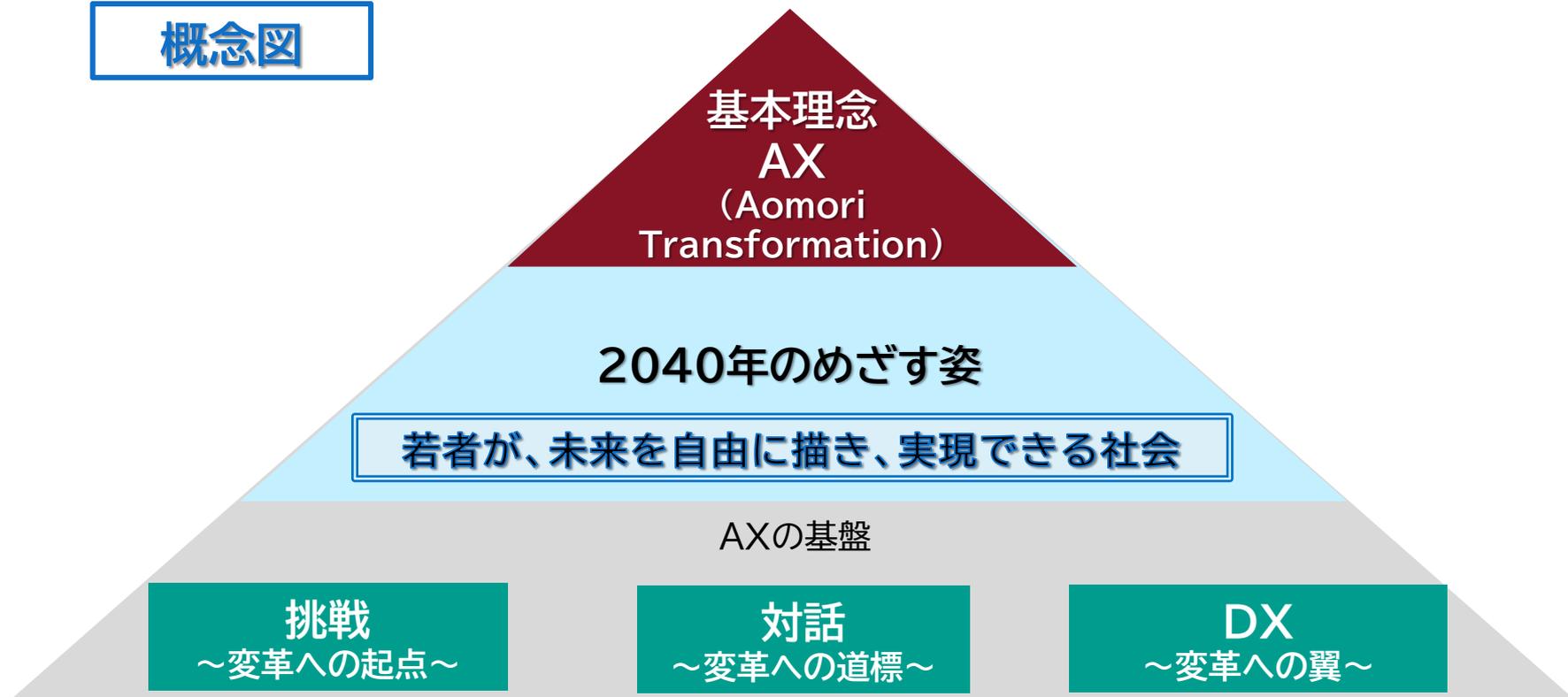
AX(Aomori Transformation)

～ 青森大変革 ～

- ✓ めざす姿の実現に向けて必要なことは、コロナ禍等の影響で世間に漂っている閉塞感を打破し、誰も経験したことのない人口減少社会に対する県民の不安を取り払い、希望を抱きながら、未来に向かって進んでいくこと。
- ✓ 時代の流れや世界情勢に的確に対応し、自由な発想で、新しい手法を積極的に取り入れながら、進化に向けて挑戦していくこと。
- ✓ そして、青森県に対する負のイメージやネガティブな意識を転換し、青森県の持つ価値や魅力を世界に向けて発信していくこと、そしてふるさとあおもりを愛し、誇りに思う人を増やしていくこと。

- ✓ 「挑戦」「対話」「DX」を、AXの基盤として位置付け。

概念図

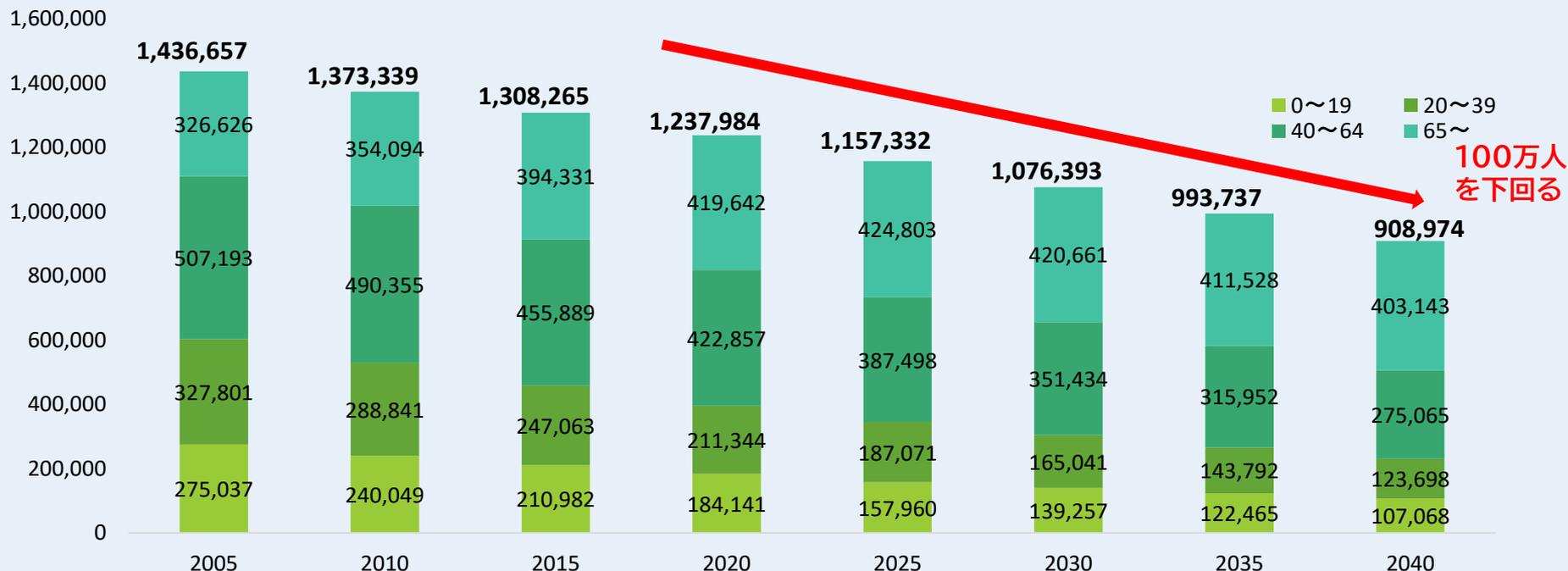


県民一人ひとりが「青森を変えたい」「青森を良くしたい」という強い思いを持って、本県が有する多彩な地域資源を生かしながら挑戦を続け、新たな未来を切り拓いていく。

県民との対話を踏まえて県政の課題等を把握し、進むべき方向性を定め、取組を進めていく。

デジタル技術の活用により、人口減少に伴う諸課題を解決し、社会を維持・発展させる。また、地理的・時間的制約を乗り越え、世界に向けて、青森県の価値・魅力をより強力に発信する。

青森県の人口の推移(2005-2040)



将来への明るい兆し

- 暮らしやすさ、定住志向の高さ、「新しい生活様式」の定着
- 若者の本県に対するイメージの向上
- デジタル化の重要性の高まり
- グローバル化の進展とチャンスの拡大
- エネルギー需要の高まりに対する本県の貢献
- 平均寿命・健康寿命の延伸と高齢者の活躍
- 世界に誇れる豊かな自然や文化

立ち向かうべき課題

- 低水準にある所得状況
- 長期的な人口減少と様々な影響
- 超高齢社会、孤独・孤立
- 若い世代の減少、しごとや生き方の多様化、少子化の進行
- 世界情勢の混迷と原材料価格、原油価格・物価高騰
- 新型コロナウイルス感染症と次なる感染症危機
- 気候変動や自然災害

- 今後、社会がどのように変化して行くのかを見通すのは難しい状況にある
- 時代の変化に合わせて、県政も県民も変わっていく必要がある
- **特に、大きな課題は、所得の向上**

▶ 「青森新時代」の実現へ

- 人口減少の大きな要因は、若い世代の県外流出とこれに伴う少子化。人口減少に伴う課題を乗り越え、美しい自然や文化を背景とした豊かな暮らしなど、本県の有する価値を次の世代につないでいくためには、一人でも多くの若者が青森県で人生を送ることに多様な可能性を見出し、「ここで暮らしたい」と思える魅力ある青森県にしていけることが、最も重要である。

<めざす姿>

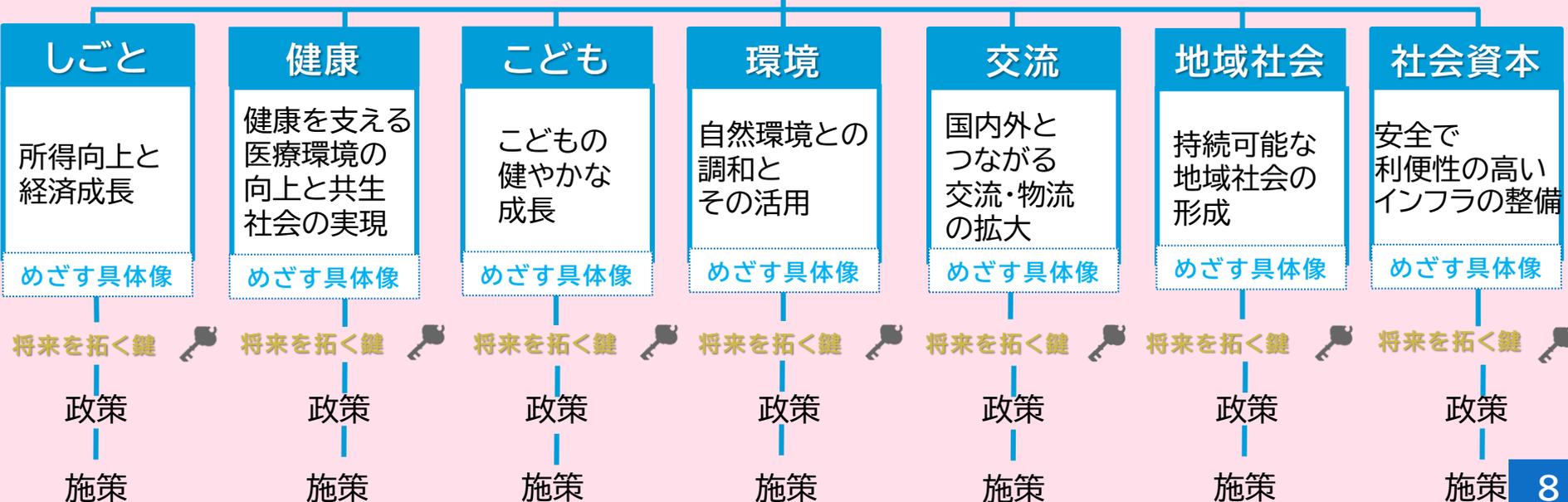
若者が、未来を自由に描き、実現できる社会

- ・多様なしごとと安定した収入があり、誰もが将来への見通しを持って、希望する道を選ぶことが可能。
- ・各人の価値観や希望する生き方が、地域や世代を越えて尊重されている。
- ・こどもや若者が、生まれた場所や家庭環境等に左右されずに、学び、成長することができる環境がある。
- ・自身と周りの人の健康を大切にしながら、災害や犯罪等に心身が脅かされることなく、地域で助け合い、生き生きと暮らしている。
- ・四季折々の美しい自然からもたらされる恵みを楽しるとともに、縄文文化が栄えたこの青森で脈々と培われてきた歴史や文化、風土、伝統を大切にしながら、人生を楽しんでいる。
- ・青森県のヒト・モノ・価値は、国内外で高く評価され、県民はふるさとに誇りと愛着を持っている。

- ✓ 県民が生活局面において重要視しているもの、本県にとって今後一層重要になるもの、更なる取組の推進が必要なものといった観点から、2040年のめざす姿を7つの政策テーマに分類。
- ✓ 雇用・所得、産業等を扱う「しごと」、健康づくり・医療等を扱う「健康」、子育て・教育等を扱う「こども」、脱炭素・エネルギー等を扱う「環境」、観光・輸出・物流・交通等を扱う「交流」、生活基盤・地域づくり等を扱う「地域社会」、インフラ・防災を扱う「社会資本」の7つの政策テーマに分類。
- ✓ 7つの政策テーマに沿って、めざす姿の具体像と政策・施策を設定。
- ✓ めざす姿の実現に向けて特に重要で必要不可欠なキーワードとして、政策テーマごとに「将来を拓く鍵」を設定。

AX(Aomori Transformation) ▶ AXの基盤「挑戦」「対話」「DX」

2040年のめざす姿 若者が、未来を自由に描き、実現できる社会



政策テーマ① しごと～所得向上と経済成長～

将来を拓く鍵 所得増につながる
生産性の向上

- 政策Ⅰ 豊かさを実感できる力強い農林水産業の実現
政策Ⅱ 地域経済の成長を支える県内産業の競争力強化
政策Ⅲ 若者を惹きつけるしごとづくり
政策Ⅳ 産業を支えるDXの推進

政策テーマ② 健康～健康を支える医療環境の向上と共生社会の実現～

将来を拓く鍵 

- 1 ヘルスリテラシーの向上
- 2 医療・介護サービス
提供体制の強化

- 政策Ⅰ 県民一人ひとりの健康づくりの推進
政策Ⅱ がんの克服をめざす体制づくり
政策Ⅲ 持続可能な地域医療サービスの整備
政策Ⅳ 高齢者や障がい者が安心して暮らす共生社会の実現

政策テーマ③ こども～こどもの健やかな成長～

将来を拓く鍵 

- 1 少子化への挑戦
- 2 教育改革の推進

- 政策Ⅰ 希望と喜びを持って子育てできる環境づくり
政策Ⅱ あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革
政策Ⅲ こども・若者に届く包括的な支援の充実・強化

政策テーマ④ 環境～自然環境との調和とその活用～

将来を拓く鍵 

再生可能エネルギーの推進と
自然・地域との共生

- 政策Ⅰ 再生可能エネルギーとの共生と環境配慮型ビジネスの推進
- 政策Ⅱ カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会の実現
- 政策Ⅲ 資源効率の高い循環型社会の実現
- 政策Ⅳ 豊かな自然環境の継承
- 政策Ⅴ 原子力施設の安全確保対策と原子力防災対策の充実

政策テーマ⑤ 交流～国内外とつながる交流・物流の拡大～

将来を拓く鍵 

- 1 観光消費額の拡大
- 2 海外戦略の強化

- 政策Ⅰ 国内外とつながる観光の推進
- 政策Ⅱ 輸出・海外ビジネスの拡大と物流の確保
- 政策Ⅲ 国際交流の推進
- 政策Ⅳ 暮らしと交流を支える交通ネットワークづくり

政策テーマ⑥ 地域社会～持続可能な地域社会の形成～

将来を拓く鍵 

- 1 地域との多様な
つながりの構築
- 2 行政経営分野のDX推進

- 政策Ⅰ 元気な地域づくり・人づくり
- 政策Ⅱ 安心して快適な生活基盤づくり
- 政策Ⅲ 文化・スポーツの振興

政策テーマ⑦ 社会資本～安全で利便性の高いインフラの整備～

将来を拓く鍵 

DXを活用した、インフラ
整備と防災・減災の推進

- 政策Ⅰ 安全・安心な県土づくりを推進する社会基盤の整備
- 政策Ⅱ 産業・交流を支える社会基盤の整備
- 政策Ⅲ 防災・減災の推進や危機管理機能の向上

- ✓ 県内の各圏域において、市町村等の関係機関と連携して今後5年間重点的に取り組む内容を、圏域ごとの地域別取組方針として策定。
- ✓ 各圏域においては、地勢、気候、産業構造、人口構成等についてそれぞれ異なる特性を持っていることから、2040年のめざす姿の実現に向けて、全県的な動向や政策の方向性も念頭に、地域別取組方針に従って取組を進めていく。
- ✓ 各市町村間の連携を強化するとともに、各市町村が持つ資源を相互に活用し、役割を補完し合いながら、地域一体となって取り組む。
- ✓ 定住自立圏や連携中枢都市圏等の枠組みのほか、DMOなどの新たな広域連携体制の枠組みも踏まえ、地域政策の実効性が高まるよう、柔軟に取り組む。

◎構成

<地域の現状>

各地域の人口や産業の状況等

<地域の課題>

各地域の強み・弱み

<取組方針>

現状・課題を踏まえた地域づくりに向けた取組方針

2040年のめざす姿



各圏域が共通のめざす姿に向かって
取組を進める

東青地域

青森市、平内町、今別町、
蓬田村、外ヶ浜町

- 活力と魅力あふれる地域づくり
- 「安全・安心な食」と「優れた人財」を次世代へつなぐ持続可能な農林水産業の実現
- ニーズの変化に対応した新しい価値観による観光の推進
- 一人ひとりが健康で共に支え合う地域社会の実現

中南地域

弘前市、黒石市、平川市、
西目屋村、藤崎町、
大鱒町、田舎館村

- 地域の活力と魅力ある農林業の展開
- 地域産業を支える人財の確保と多様化
- 津軽の“こころ”に触れる旅づくり
- 健康で安心して暮らすことができる地域社会づくり

三八地域

八戸市、三戸町、五戸町、
田子町、南部町、階上町、
新郷村

- 生産性向上による地域産業の活性化
- 農林畜水産業の収益力強化と農山漁村を支える人財の育成
- 広域観光の推進
- 健康、長寿で、生き生き暮らせる環境づくり
- 交流促進と連携強化を支援する基盤づくり

西北地域

五所川原市、つがる市、
鯉ヶ沢町、深浦町、板柳町、
鶴田町、中泊町

- スマート農業と高収益作物の導入等による持続可能な農林水産業の所得向上
- 国内外の誘客推進と風力発電施設の立地による経済循環
- 安心して生活を送れる地域サービスの充実
- 誰もが住み続けたいくなる地域づくり

上北地域

十和田市、三沢市、
野辺地町、七戸町、
六戸町、横浜町、東北町、
六ヶ所村、おいらせ町

- 強みを生かした持続的な農林水産業の発展
- 地域資源を生かした魅力的な地域づくり
- 安全・安心で健康に暮らせる地域づくり
- 多様な人財が地域とつながる持続可能なコミュニティづくり

下北地域

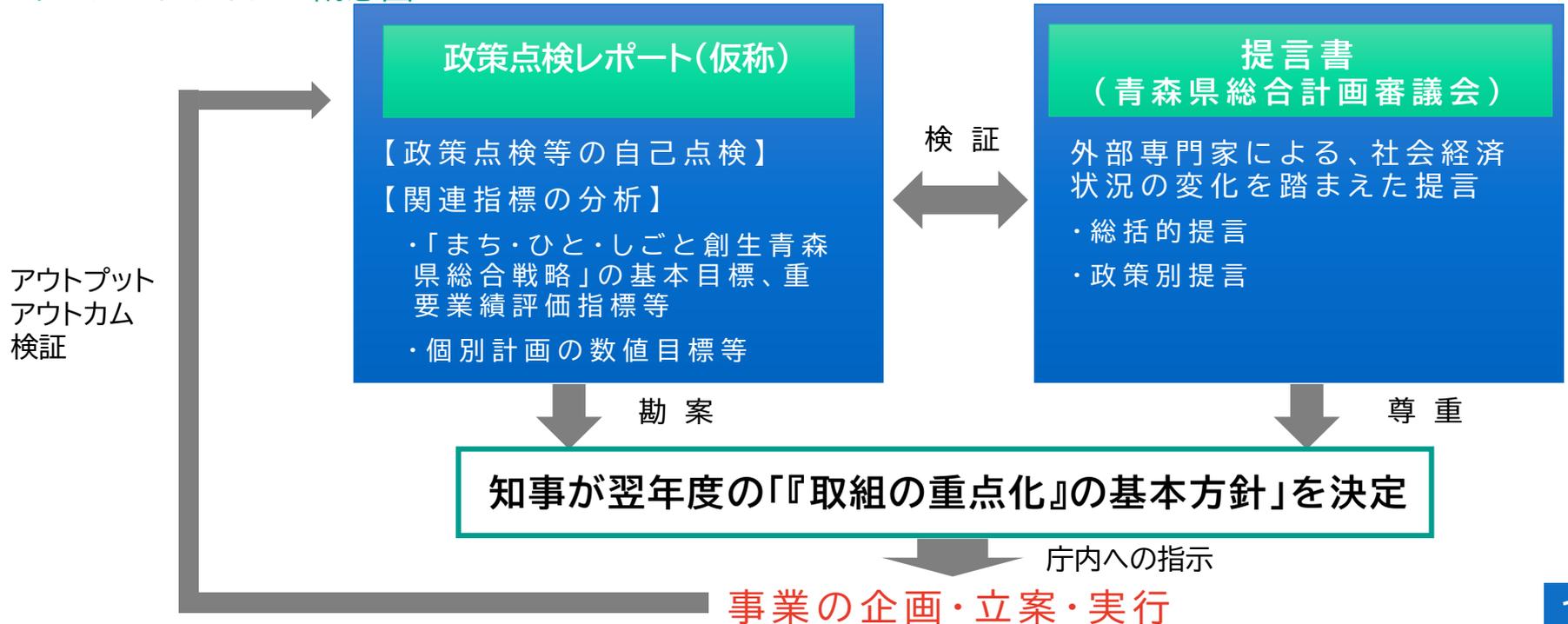
むつ市、大間町、東通村、
風間浦村、佐井村

- 地域の特性を生かした農林水産業の体質強化
- 地域で連携して取り組む持続可能な観光の推進
- 健康で安心して暮らせる社会づくりの推進
- 多様な人財による元気な下北づくり

- ✓ 政策・施策体系に基づく取組の成果や課題について毎年度検証し、その結果を次の効果的な企画立案につなげるため、マネジメントサイクルを展開。
- ✓ 政策点検(自己点検・総合計画審議会による検証)の結果を勘案するとともに、総合計画審議会からの提言を尊重し、特に重点的に取り組むべき内容を、知事から各部局に対して指示。
- ✓ 毎年度の社会経済情勢等の変化を踏まえた、柔軟・機敏な対応を重視し、知事指示事項に反映。
- ✓ 事業の執行に当たっては、OODA^{ウーダ}ループ※の考え方を^{ウーダ}用い、状況の変化にスピード感を持って機動的に対応していく。

※OODA^{ウーダ}ループ: Observe(観察する)、Orient(方向付ける)、Decide(決断する)、Act(実行)のサイクルにより、軌道修正を短期的に繰り返す機動力を重視した意思決定手法

マネジメントサイクル概念図



- ✓ 計画を着実に推進していくために留意すべき事項として下記4点を示す。

○ 情報発信

- ✓ 受け手の視点に立った、よりわかりやすく、より伝わる広報活動を実践。併せて、県民の声を県政に反映させる開かれた県政の推進のため、各種広聴事業を実施。
- ✓ 県民一人ひとりが計画に共感し、それぞれの立場で新しい青森県づくりに参画できるように、積極的にPRする。
- ✓ グローバル化やデジタル化に対応し、様々な広報媒体を活用し、県外・海外に向けて積極的に発信。

○ あらゆる主体の参画・連携強化と協働の推進

- ✓ 地域を支える多様な主体の参画と連携強化・協働を推進。
- ✓ 地域のつながりや支え合いの環の拡大を図る。
- ✓ 多様な県民ニーズに柔軟かつ的確に対応していくため、市町村との連携を強化。
- ✓ 広域的な課題に適切に対応するとともに、効果的・効率的に取組を進めるため、近隣道県との連携を強化。
- ✓ これまで築いてきた国内外のネットワークを維持・強化・活用する。

○ SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開

- ✓ SDGsの17のゴールが各政策・施策とも関わりが深いものとなっていることから、計画の推進に当たっては、SDGsの理念を踏まえながら各種施策を展開。
- ✓ SDGsの取組主体となる市町村や企業、関係団体等への情報発信や、「青森県SDGs取組宣言登録制度」の運用等を通じ、県民のSDGsに対する認知度向上と主体的な取組を促進する。

○ 行財政改革の推進

- ✓ 将来を見据え、社会環境の変化に加え、複雑化・高度化する行政課題に的確に対応するため、別に定める「青森県行財政改革大綱」に基づき、行財政改革に取り組む。